

活性汚泥の活性測定結果報告書No.xxx

2020/xx/xx
株式会社 小川環境研究所

御社から送付された活性汚泥につき、弊社TScheckerで測定した結果を報告.

試料採取日: 2020/xx/xx

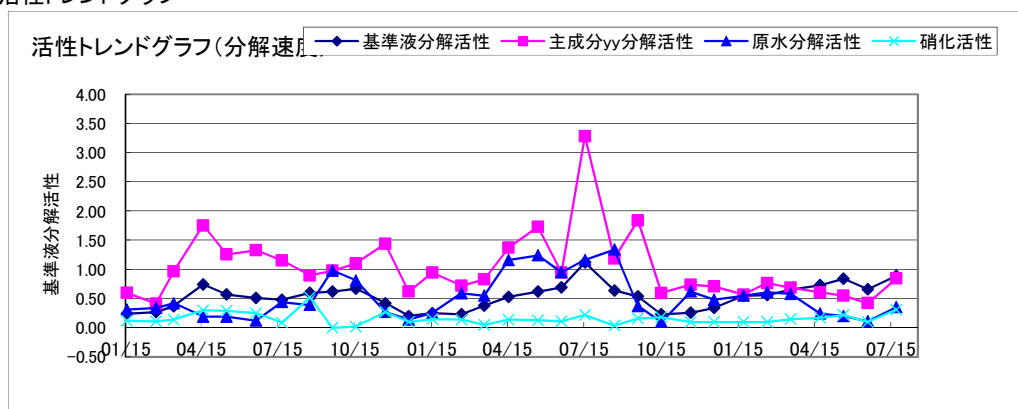
試料到着日: 2020年xx月xx日 14:20

1. 測定結果(詳細データ:資料1参照)

	BOD _{TS} [mg/l]	分解速度(活性)[mg/l/min]		備考
		最大	50%除去平均	
基準液分解活	****	1.34	0.89	TypeF使用
ホルマリン分解活	****	0.74	0.74	
原水分解活性	280	0.65	0.35	
硝化活性	251	0.31	0.31	TypeG使用

◎備考:測定時、粘性の発泡がありました。正常に測定できました。測定温度は29.6℃。貴社曝気槽温度29.6℃。培養時、粘性の発泡がありました。今回、pH低下はありません(6.63→6.85)。沈殿槽では、処理水の濁りは、ほとんどなく、沈降性は良好です。

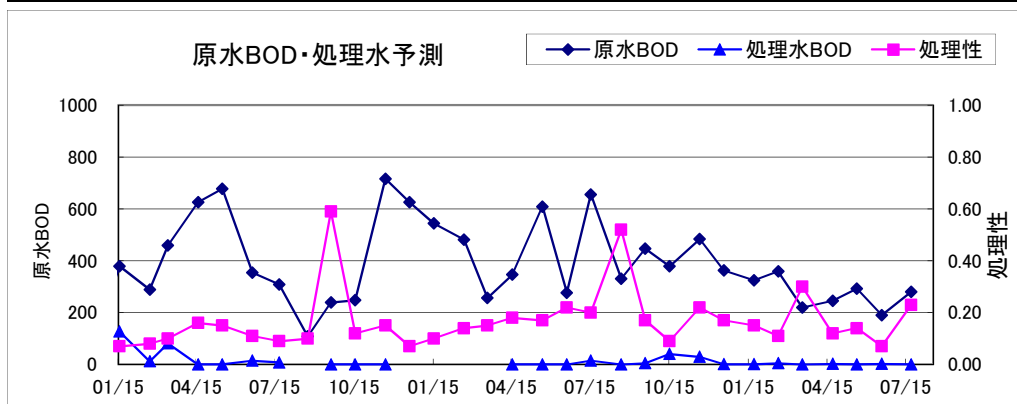
2. 活性トレンドグラフ



◎備考:曝気槽温度は、28.0→29.6℃に上昇しています。基準液、主成分、原水分解活性は回復している。原水の分解量(BOD_{ts})も1.5倍に増大しています。硝化活性も増大しています。原水のT-Nは70.7mg/L(前回135mg/L)で低下しており、汚泥上澄のT-Nは83.6mg/L(前回102mg/L)で低下、NH₄-Nは0.18mg/Lで、未硝化のNH₄-Nはほぼ無し。今回も特別に汚泥上澄のNO₂-Nを測定し、0.07mg/L(前回0.24mg/L)、NO₃-Nは90mg/L(前回97mg/L)。全ての活性が増大し、硝化活性もしっかりしているので、汚泥の状態は良化傾向です。

3. 原水BOD・処理性トレンドグラフ(詳細データ:資料2参照)

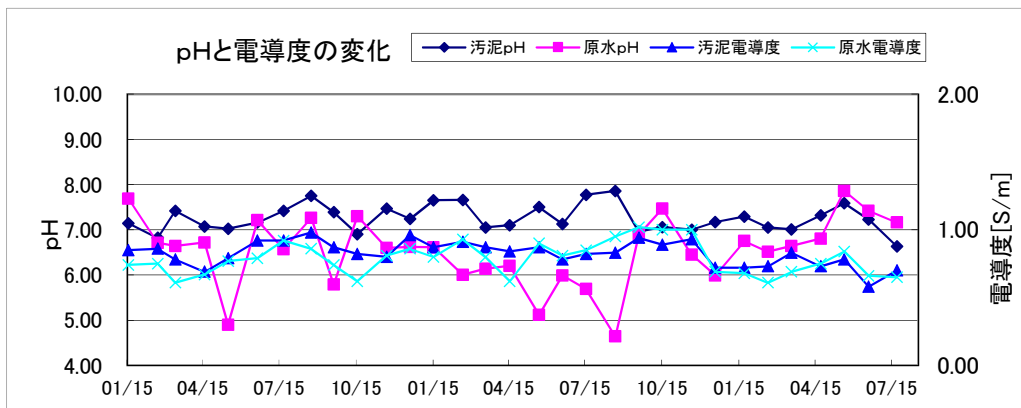
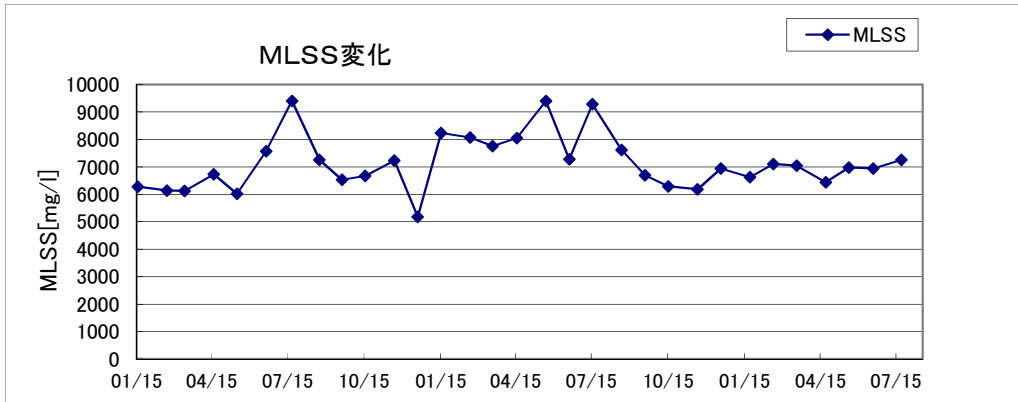
原水処理量	原水BOD	処理性	処理水BOD予測	備考
[m ³ /hr]	[mg/l]	[mg/l/min]	[mg/l]	原水は3倍希釈
17	280	0.23	0.0	



◎備考:原水BOD_{ts}は280mg/L(前回190mg/L)で前回の1.5倍。前回より原水分解活性、処理性が回復しているので、処理水BOD_{ts}予測計算は0mg/Lとなっています。今回もTOCを測定しました。原水192mg/L(前回186mg/L)、汚泥上澄8.1mg/L(前回13.6mg/L)となり、TOC除去率は95.7%(前回92.7%)で良好です。

4. その他水質変化

	汚泥	原水
MLSS [mg/l]	7,260	
pH [-]	6.63	7.16
電導度 [S/m]	0.70	0.65



◎備考: MLSSは、8260mg/L。通常の範囲内です。

5. 汚泥の顕微鏡写真(倍率220倍) 通常どおりの汚泥です。糸状菌が散見できます。

